

2021年度夏季セミナー質問内容

講演4「審美領域におけるデジタル印象の創意工夫（特に歯肉縁下マージンの印象について）」神谷光男先生

質問	質問内容	講師回答
1	テンポラリークラウンをスキャンする際に、個歯トレーのように使用してクラウン内面をシリコン印象材でウオッシュするとさらに歯肉縁下マージンがより正確にスキャンできると思いますが、そのような試みはされたことがありますでしょうか。	私はそのような術式を行ったことはありませんが、非常に有効な方法だと感じます。 ただ難点は溢れ出した余剰シリコン印象材が、プロビジョナルレストレーションの入ったスキャンとの重ね合わせの時に邪魔をすることだと感じます。私自身はできるだけプロビジョナルレストレーションを煮詰める様にしておりますので講演内容の様な術式を採用しております。 しかし一度機会があればご質問の方法を試して検証してみたいと思います。貴重なご意見を頂き誠にありがとうございました。